

令和4年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 伏虎義務教育 学校
校長氏名	古田清和
作成日	令和5年2月8日

1 教育目標

心豊かで、自ら学び、夢と希望を持ってたくましく生きる人間の育成

2 本年度の取組についての評価

	進んで学び、しっかり考える子供	心豊かで、思いやりのある 優しい子供	健やかに、たくましく生きる 元気な子供	地域とともにある学校
指標	<p>学校評価アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の勉強がわかる。 ・授業は楽しく分かりやすい。 <p>全国学力学習状況調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いを通じて考えを深め広げる。 ・資料や文章、話の組立てを工夫して発表できる。 	<p>学校評価アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しい。 ・私はそうじを一生懸命している。 ・誰にでもあいさつができる。(前期) ・気持ち良い挨拶をしている。(後期) ・私は友達となかよくしている。 ・相手や場に応じた言葉づかいができる。(後期) 	<p>学校評価アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の進路や職業について適切に指導している。(後期保護者) ・自分の将来の進路や生き方について考えることができている。(後期) <p>・学校は、子供の安全確保・健康管理のための取組を行っている。(保護者)</p>	<p>学校評価アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校は、子供の活動の様子を、保護者に分かりやすく伝えている。(保護者)
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動の充実 ・「わかやま創造科」を要とする主体的・協働的・探究的な学習の充実 ・外国語教育の充実 ・理数教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動の充実 ・道徳教育・人権同和教育の充実 ・自主的・実践的活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の充実 ・基本的な生活習慣の確立 ・健康安全教育の推進 ・キャリア教育・進路指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭・地域との連携充実 ・地域資源の活用推進 ・地域行事やボランティア活動への参加
取組の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「わかやま創造科」を中心に、教職員全体で授業研究を推進し、児童生徒が探究的に学ぶ力の育成に努めた。(10月、11月に「わかやま創造科」の研究授業を行った) ・9年生では、「わたしの未来わかやまの未来」というテーマで、和歌山大学観光学部の学生から話を聞いたり、近隣の店舗を調べたりしながら、和歌山をよりよくするための提言を各学級でまとめた。 ・5、6年生の算数科は、後期の数学科担当教員や算数の専門性の高い教員が、授業を行った。 ・6年生は、外国語専門の教員を決め、全クラスにわたり授業を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍が長引く中、教育活動を広げるという考えに立ち、可能な範囲で儀式的行事や体験活動に取り組んだ。 ・附属小中学校と連携し、人権同和教育の研修や実践発表を行った。 ・運動会では、学年の枠を超え交流が行われた。終わった後も、学年行事での交流が続いている。 ・全学年とも学習発表会を実施することができた。 ・9年生は、学習発表会で「わかやま創造科」の成果を発表し、その後も、成果物を廊下に掲示し、児童生徒が共有できるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援や配慮の必要な子供について、支援方法について教職員間の情報共有を進めた。 ・保健室だよりの発行、保健委員会活動を通じて、健康についての意識向上に取り組んだ。 ・「食」に関わる掲示や通信で、健康についての意識を高めた。 ・8年生で、職場体験は残念ながらできなかったため、グループに分かれて「職業調べ」を行い、学年で発表会を開き職業について学んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伏虎通信を毎月地域に配布させていただいた。 ・HPを通じて学校の情報発信に務めた。 ・学校図書館ボランティアの方々が定期的に來校してくださるので、常時開放が可能となり、書架が整頓され、季節のディスプレイが飾られるようになった。 ・校庭の芝生化2年目。荒れた部分に芝生苗を補充したり、地域の方々にも水やりや芝刈り等のメンテナンス作業の支援をいただいたりして、昨年度以上に緑化が進んだ。子供たちの怪我の減少につながっている。
【評価結果】	<p>【学校評価アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の勉強がわかる。(前期 低90% 中95% 高95%)、授業は楽しく分かりやすい。(後期81%) <p>【全国学調質問紙】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に自ら取り組むことができる。(6年78% 9年86%) ・資料や文章、話の組立てを工夫して発表できる。(6年69%、9年72%) ・話し合いを通じて考えを深め広げる。(6年77% 9年85%) <p>言語活動をさらに充実させ、思考力や判断力、表現力の伸長を図りたい。</p>	<p>【学校評価アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しい。(前期 低99% 中96% 高97% 後期91%) ・私はそうじを一生懸命している。(前期低89% 中92% 高92% 後期89%) ・誰にでもあいさつができる。(前期低86%)、気持ち良いあいさつができる。(前期中92% 高84% 後期83%) ・相手や場に応じた言葉づかいができる(後期94%) <p>「時を守り、場を清め、礼を正す」の意義をしっかりと理解させるようにする必要がある。</p>	<p>【学校評価アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業や体験活動で、進路や生き方について考えている。(後期81%) ※類似の質問として【全国学調質問紙】(4月)で、「夢や目標がある」で、後期78%だった。 ・学校は、子供の安全確保・健康管理のための取組を行っている。(保護者83%) <p>全校で火災や地震時の避難訓練(6月、11月)、不審者対応訓練(2月)を実施し、災害等への備えを図った。低学年を中心に、交通安全教室を複数回、実施した。</p>	<p>【学校評価アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校は、子供の活動の様子を、保護者に分かりやすく伝えている。(84%) <ul style="list-style-type: none"> ・HPの更新を頻繁に行うよう努めたが、定期的に更新を続けていくことができなかった。安定的な更新と掲載内容の充実を図らなければならない。 ・今年度も校区の商店や地域人材の協力を得ることができ、子供たちの体験的な学習に寄与していただいた。
改善方法	<ul style="list-style-type: none"> ・互いに授業参観したり、研究授業・協議会を開催したり、教員同士が互いに学び合う機会をもち、教員の授業力向上を図る。 ・児童生徒が探究的に学ぶ力を育成することを目標とし、教職員全体が一体となって授業研究に取り組む。 ・学校図書の実験をさらに進め、子供達が集う魅力ある学校図書館づくりに取り組むことで、読書習慣の確立を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「時を守り、場を清め、礼を正す」の意義を理解し、主体的に取り組む姿勢を継続して養う。 ・「いじめなくそうデー」の取組の継続と充実、及び「特別の教科道徳」の授業の充実を図り、豊かな心を持った子供を育成に努める。 ・正面玄関でのあいさつ運動(スマイル活動)を継続し、挨拶を大切にすることをさらに高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SCやSSW、関係機関と連携したケース会議を定期的に開催し、指導方針の共有、個別支援の充実に努める。 ・給食を通じて、食育に対する意識をさらに高める。 ・職場体験の実施など、体験的な活動を取り入れ、キャリア教育の一層の充実に向けて取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の情報がより広く伝わるように、HPの充実に努める。 ・学校通信で、子供たちの日頃活動の様子をより一層伝わるように工夫する。 ・コミュニティースクールと連携し、学校と地域人材や地域資源をつなぎ、子供たちの学習の幅を広げたい。

3

第Ⅰ期(1年～4年)第Ⅱ期(5年～7年)第Ⅲ期(8年9年)の各ステージでの活動を推進したい。清掃などで縦割りの活動を実施するなど、学年を越えて前期後期生が連携・協力する機会を今以上に増やす。前期高学年の教科担任制を導入するにあたり、より効果的な実施方法を探り、今年度5、6年生で実施した教科担任制をより実のあるものとしていきたい。また、前期後期の教員の交流をさらに進めていく。